

市民と一緒に酒米から作った酒が完成  
酒瓶オリジナルラベルワークショップ

アーティストの山本修路さんと(株)鳩正宗杜氏の佐藤企さんが酒米の田植えから収穫、酒の仕込みなどを市民らと行った「酒プロジェクト」の日本酒「天祈り」が完成し、4月13日、同社でオリジナルラベルワークショップが行われました。佐藤さんは「新しい客層の開拓にもつながった。これを機会にたくさんのかたに日本酒を味わってもらいたい」と話しました。「天祈り」は限定1,200本で、市内酒販店で販売されています。



参加者は、山本さんがデザインしたラベルに色を塗ったり、絵を描くなどしてオリジナルラベルを作成しました

プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」  
十和田で公式戦開催を報告

10月から日本プロバスケットボール男子「bjリーグ」に参戦する「青森ワッツ」の棟方公寿ヘッドコーチと、チームを運営する青森スポーツクリエイション(株)の下山保則社長らが4月10日、市役所を訪れ、十和田市でのbjリーグ公式戦開催を小山田市長に報告しました。

同チームは県内各地で公式戦を行う予定で、十和田市総合体育センターでは11月16・17日と2月15・16日に、計4試合が開催されます。



小山田市長と歓談する(写真左から)下山社長、棟方ヘッドコーチ

女性の力で十和田を元気にしたい  
TMG 48、春まつりガイドに意気込み

昨年12月、十和田にゆかりのある女性たちで結成された市民団体「TMG 48(トワダもてなしガールズ)」(前田美保子代表)のメンバーらが4月8日、市役所を訪れ、小山田市長に春まつりでのボランティア活動やイベント支援など活動方針について報告しました。

前田代表は「メンバーが十和田のことをもっと知るために、いろいろなイベントなどに参加して支援していきたい」と、抱負を話しました。



市役所を訪れたTMG48のメンバーたち

十和田の食を堪能しよう  
春のとわだぴあまつり

4月7日、道の駅とわだ「とわだぴあ」で市が主催し、春のとわだぴあまつりが行われました。このまつりは、十和田の豊富な農産物や米粉などのPRを目的としたものです。グルメストリートでは、米粉商品や地元産品を販売するブースが並び、米ポン菓子の実演販売が行われました。また、十和田産野菜や米粉のシチュー、十和田産米まっしぐらのおにぎり、米粉なべっこ団子などがそれぞれ約200人に振る舞われ、好評を博しました。



米粉をテーマとしたメニューの無料振る舞いには長蛇の列ができました